

社会福祉法人宝珠会平成28年度事業報告

1. 各事業所別事業活動報告

1) 特別養護老人ホームレストフルヴィレッジ

平成28年度の利用率は、前半期は前年度の実績を上回っていたものの、後半期は徐々に利用率の低下がみられ、特に1月から2月にかけて利用率が低下した。これは、利用者の体調不良により入院治療の長期化や死亡による退所例が増加したためと考えられる。総計では、前年度とほぼ変わらない利用率を維持していた。

2) レストフルヴィレッジ（短期入所生活介護）

ショートステイは平成28年度に入り、順調に推移していたが、秋頃より利用率が低下した。これは、他施設から当施設へ一時避難的に入所していた利用者のうち、数名に感染の疑いが認められたため、その施設からの入所をお断りしたことにより、利用率が低下したと考えられる。その後、利用者の低迷が続いたため、費用対効果を検討し、平成29年3月より、ショートユニットを特養の空床利用型に移行した。このため、3月の利用率が低下した。総計では、昨年度より250床程度の増加になっている。

3) ケアセンターレストフルヴィレッジ（デイサービス）

平成28年度のデイサービスの利用率は、春頃より順調に伸び、約70%前後を推移している。少しずつ、近隣地域の利用も増加している。

利用数の総計でも前年度に比べて46.9%増加し、平均の利用率も65%と順調に推移した。

4) 居宅介護支援センター やどりき

居宅介護支援事業所を開設して2年半が経過し、月平均利用者数が6.3人と増加しているが、さらなる顧客の獲得が必要と考えている。

2. 法人事業活動

1) 評議員会開催（3回開催）

2) 理事会開催（3回開催）

3) 評議員選任・解任委員会開催（1回開催）

3. 施設運営経時的概要

4月に協力病院が、佐藤病院から大内病院に変更。産業医も西湘病院健康管理センターの今井賢治先生に交代。

6月にハラスメント規程の制定と衛生管理規程ならびに衛生委員会規程制定。

7月にストレスチェック制度実施規程を定め、ストレスチェックを実施。

9月には、障害者施設における殺傷事件発生に伴い、予防策として「夜間における緊急事案対応マニュアル」を改正。また、第1回目の健康診断を実施。

平成29年1月より、施設利用者の死亡例について、施設のより良い対応を目指して、デスクカンファレンスを毎月1回開催することに決定。また同月に、前年に発生した水害における福祉施設利用者の被災事故を受けて、非常災害対策計画を策定。

3月には、2回目の健康診断を実施。同月の21日に、松田町と「災害時における福祉避難所としての施設利用等に関する協定書」を締結。

4. 施設設備に関する活動

- 1) 施設内照明をLEDに交換する工事を実施し、月平均で約6万円程度の経費が削減された。
- 2) 施設の浄化槽が老朽化のため破損したため、タンクの補修工事を実施した。
- 3) 日本財団より援助を受け、利用者送迎用軽自動車を購入した。これに伴い、それまで使用していた送迎車を廃車した。

5. 防災関係の活動

- 1) 消防防災設備の定期的点検（年2回実施）
- 2) 防災・災害対策訓練。（年2回実施）

6. 各種委員会活動

施設運営に必要な各種委員会活動では、法令で定められている給食会議、褥瘡委員会、感染症委員会、事故防止対策委員会、身体拘束防止委員会、安全衛生委員会と防災委員会など、定められた回数を開催した。

7. 職員研修教育活動

その他、施設内勉強会を開催し、職員の知識と技術の向上に努めた。